iPad授業ガイド

小学校３年　国語

2026年6月

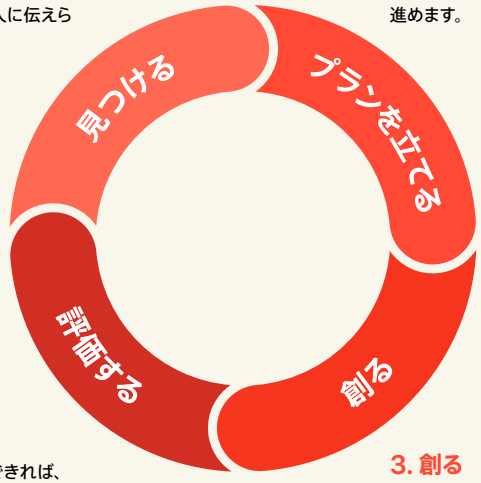
はじめに

このガイドについて

このガイドは、学習指導要領において重要視されている主体的・対話的で深い学びを、iPadを使って実現するための指針となるものです。それぞれの学年の教科ごとに3つの単元をピックアップし、毎日の授業に簡単に取り入れられるアイデアを紹介しています。各単元は、下記のデザインプロセスにもとづいて設計されています。このプロセスに沿って授業を進めることで、生徒たちは学習内容を身の回りのものと結びつけて考え、表現することを通して、知識を定着させていくことができます。

1. 見つける
体験活動などを通して、課題意識を持った教科内容について、生徒が自ら情報を集め、言葉や写真、ビデオなどを使って整理することで、気づいたことを周りの人に伝えられるようにします。

2. プランを立てる
収集した情報を比較したり、分析したりしながら、周りの人の見解や新たな発見を通して整理し、伝える内容をより充実させる計画を立て、準備を進めます。



3. 創る
スケッチや音楽、ビデオやプレゼンテーションなどの創作活動を通して、学んだことを自分の強みと結びつけ、理解した内容を目に見える形で表現します。

4. 評価する
自分らしく学ぶことができれば、生徒たちはもっとスキルを高めて様々な方法で表現したいと思うようになります。他者評価や振り返りを通して学んだことを言語化し、応用できるように概念化して、次の学びにつなげます。

情報活用能力について

情報活用能力は、言語能力や問題発見・解決能力と同様に、学習の基盤となる資質・能力として位置付けられており、教科横断的な視点での育成が求められています。このガイドで紹介するアイデアを授業に取り入れれば、情報活用能力を自然かつ効果的に身につけていくことにつながり、そこで獲得したスキルはほかの教科においても簡単に応用することができます。文部科学省作成の情報活用能力の体系表（16ページ以降）は、この能力を段階的、体系的に育成するため、具体的な内容を資質・能力の3つの柱に沿った、5つのステップに分けて提示しています。小学校中学年向けのガイドでは、ステップ1や2に相当するスキルを養えるよう、この体系表を参考にアイデアを紹介しています。ぜひこれらの情報を新しい授業作りやカリキュラム・マネジメントに役立ててください。

形成的評価のためのルーブリック

資質・能力の3つの柱をバランスよく伸ばせているか、また、教師のみなさんの「ねがい」や「ねらい」が実現されているかを確認する助けとなるよう、各単元の活動内容に合わせたルーブリックを用意しました。項目ごとに複数の評価基準を提供しているので、その中から、教師のみなさんが注目し、成長を見取っていきたい内容を選んで記録することができます。単元を左記のデザインプロセスに沿って評価し記録することで、テストだけでは測りきれない学習効果を可視化したり、生徒の振り返りに活用したりすることもできます。

ルーブリックをダウンロードする

実践的な学びを促すワークシート

教師のみなさんが授業をスムーズに進められるように、各単元の活動内容に合わせたワークシートを用意しました。PDF内のリンクからダウンロードしたワークシートをAirDropや、授業支援ツールのスクールワーク、クラスルームなどで配布すれば、生徒はファイルを開いて「編集」をタップするだけですぐに課題に取り組むことができます。

学習内容の概要

単元

友だちのことを知る

iPadを使って、ほかの生徒の伝えたい魅力をまとめ他己紹介ビデオを作ります。紹介する生徒の発言を注意深く聞いて話し手の意図を理解したり、自分の伝えたいことを表現したりする力を楽しく養えます。

オーディオドラマを作る

GarageBandを活用すれば、生徒は自分で書いた物語を本格的なオーディオドラマに仕上げることができます。この活動を通して、生徒は文章を書くだけでなく、そこからさらに考えを発展させたり、アイデアを膨らませたりして、クリエイティビティを発揮することができます。

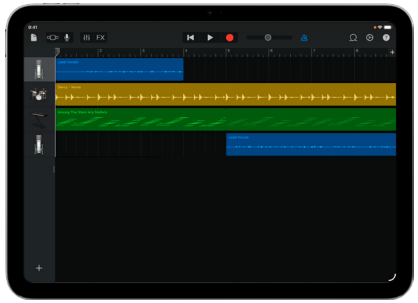
気持ちが伝わる感想文

思い出をきっかけに心に浮かんだアイデアを自由に書き出し、構成を工夫しながら感想文を書いて、1冊のブックにまとめます。その様々な段階で、iPadは生徒の思考力と表現力を支えるツールとして活躍します。

活動内容

①自己紹介カードを作ろう
②クラスメートに質問しよう
③他己紹介ビデオを作ろう
④ビデオを見て内容について話し合おう

①物語の概要を考えよう
②物語の展開を組み立てよう
③オーディオドラマを作ろう
④ドラマを聞きながら物語文を読もう



①思い出を選び、詳しく書き出そう
②気持ちが伝わる構成を考えよう
③魅力的な感想文に仕上げよう
④感想文をブラッシュアップしよう

使用するアプリ

カメラ　メモ　Keynote　iMovie

カメラ　メモ　Pages　Keynote　GarageBand

フリーボード　写真　Pages

友だちのことを知る

iPadを使って、ほかの生徒の伝えたい魅力をまとめ他己紹介ビデオを作ります。
紹介する生徒の発言を注意深く聞いて話し手の意図を理解したり、自分の伝えたいことを表現したりする力を楽しく養えます。

1	見つける	**第1時** 学習の見通しを立てる	
2		**第2時** 自分が知らせたいことを決める	活動アイデア 1 5ページ 自己紹介カードを作ろう
3	プランを立てる	**第3〜4時** 友だちの話を聞いて質問をする	活動アイデア 2 5ページ クラスメートに質問しよう
4			
5	創る	**第5時** 友だちについて、 紹介したいことをまとめる	活動アイデア 3 6ページ 他己紹介ビデオを作ろう
6	評価する	**第6時** 学習を振り返る	活動アイデア 4 6ページ ビデオを見て内容について話し合おう

*活動アイデア1〜4は、各単元の中でiPadの活用効果の高い箇所に紐付けて示しています。なお、各単元の想定時数や授業の流れは、使用する教科書や教材などにより異なります。

学習目標

話を聞きながら、必要なことを質問する。相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話す。

身につく力

必要なことを記録したり質問したりしながら聞く力。話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えを持つ力。

使用するアプリ

評価

各活動アイデアについて、「ルーブリック」を使って、生徒が学習目標をどの程度達成できたかを評価します。
ルーブリックをダウンロードする

iPad授業ガイドの詳しい使い方は
「使ってみようiPad授業ガイド」にて確認できます。
「使ってみよう iPad授業ガイド」をダウンロードする

友だちのことを知る

見つける | 活動アイデア 1　自己紹介カードを作ろう

① 図形だけで自分のことを表現した自己紹介カードをKeynoteで作ります。自分自身の興味や趣味、挑戦したいことなどを中心に、ほかの生徒に紹介したいことを考えます。Keynoteの図形ライブラリには、様々なカテゴリの図形が700種類以上含まれているので、インフォグラフィックを簡単に作成できます。

「じこしょうかいカード」のワークシートをダウンロードする

活用できるアプリ

Keynote

情報活用能力

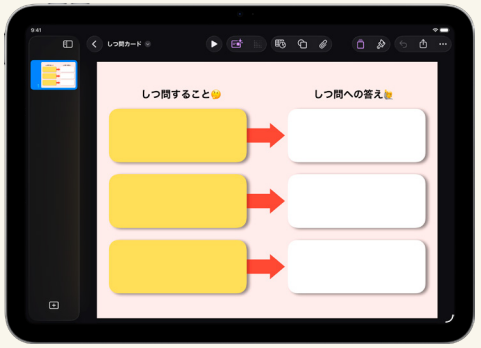
身近な生活におけるコンピュータの活用（ステップ2）
情報を抽象化するなどして全体的な特徴や要点を捉え、新たな考えや意味を見いだす（ステップ2）

プランを立てる | 活動アイデア 2　クラスメートに質問しよう

① グループに分かれて、活動アイデア1で作ったカードを見せ合います。カードの図形を見て、「〇〇が好きなの？」「将来の夢は〇〇？」など、カードの作成者にグループ全員で質問をします。質問した内容とその返答を「しつ問カード」のワークシートにまとめます。

② 活動アイデア3でiMovieを使って他己紹介ビデオを作成するための準備をします。まず、グループ内で紹介する人が重ならないよう、誰が誰を紹介するか決めます。そのクラスメートのどのようなところを紹介すれば魅力が伝わるかを各自で考え、他己紹介ビデオに盛り込みたい内容をメモアプリにまとめます。必要に応じて、さらに詳しく質問したり、ビデオの素材としてiMovieに読み込むために、紹介するほかの生徒が話している様子をカメラアプリで撮影したりします。

「しつ問カード」のワークシートをダウンロードする



活用できるアプリ

カメラ　メモ　Keynote

情報活用能力

身近なところから様々な情報を収集する方法（ステップ1）
調査や資料等による基本的な情報の収集の方法（ステップ2）
情報の比較や分類の仕方（ステップ2）

友だちのことを知る

創る 活動アイデア 3　他己紹介ビデオを作ろう

① 活動アイデア2で質問した内容や撮影した素材をもとに、他己紹介ビデオをiMovieで作ります。ほかの生徒について、楽しく理解を深められるよう工夫します。

② タイトルを作成したり、撮影したビデオや音楽を追加したりして、紹介するほかの生徒の個性や魅力が伝わるように工夫します。

③ 紹介したほかの生徒の素敵なところを、作成者自身がコメントすることもできます。音声でコメントを追加して、他己紹介ビデオを完成させましょう。

活用できるアプリ

iMovie

情報活用能力

映像編集アプリケーションの操作（ステップ2）
相手や目的を意識したプレゼンテーションの方法（ステップ2）
人の作った物を大切にし、他者に伝えてはいけない情報を守ろうとする（ステップ1）

さらに学びを深める　クラスメートの魅力についてもっと知ろう

- 活動アイデア3で他己紹介ビデオを作る前に、活動アイデア1で作成したKeynoteをクラスもしくはグループで共同作業できるようにします。コメントを使って、ほかの生徒の魅力を入力し合えるようにすれば、新たな視点からの発見が得られるかもしれません。
- 写真やビデオなど、他己紹介に使えそうな素材をほかの生徒が持っていたら、AirDropなどを使って共有し、活動アイデア3のビデオに取り入れてもよいでしょう。
- ほかの生徒の印象や長所について、ほかの人にもインタビューして撮影し、他己紹介ビデオの素材として使うこともできます。

評価する 活動アイデア 4　ビデオを見て内容について話し合おう

各自が活動アイデア3で作成した作品をクラスやグループ対グループで発表します。より詳しく知りたい内容や、疑問に思ったことがあれば、発表者に質問します。ビデオで紹介された生徒に、自分のことが正しく伝わったかを検証してもらうのもよいでしょう。正しく伝わっていない点があれば、何が原因で伝わらなかったのかを確かめるため、質問や答えなどのやり取りを振り返ります。そうすることで、知りたいことを適切に質問する方法や、相手に伝わりやすい受け答えをする方法について理解を深めることができます。

オーディオドラマを作る

GarageBandを活用すれば、生徒は自分で書いた物語を本格的なオーディオドラマに仕上げることができます。この活動を通して、生徒は文章を書くだけでなく、そこからさらに考えを発展させたり、アイデアを膨らませたりして、クリエイティビティを発揮することができます。

1	見つける	第1〜2時 設定を受けて、物語の展開を想像する	活動アイデア 1 8ページ 物語の概要を考えよう	
2				
3	プランを立てる	第3〜4時 物語の流れを考える	活動アイデア 2 8ページ 物語の展開を組み立てよう	
4				
5	創る	第5〜7時 物語の表現方法を考える	活動アイデア 3 9ページ オーディオドラマを作ろう	
6				
7				
8	評価する	第8時 学習を振り返る	活動アイデア 4 9ページ ドラマを聞きながら物語文を読もう	

*活動アイデア1〜4は、各単元の中でiPadの活用効果の高い箇所に紐付けて示しています。なお、各単元の想定時数や授業の流れは、使用する教科書や教材などにより異なります。

学習目標

物語の構成や展開を考える。話の大枠を組み立ててから内容を膨らませ、物語を考える。魅力的な物語に仕上げるため、表現の仕方を工夫する。

身につく力

構想を練ったり、物語の組み立てを考えたりする力。書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考える力。

使用するアプリ

評価

各活動アイデアについて、「ルーブリック」を使って、生徒が学習目標をどの程度達成できたかを評価します。

ルーブリックをダウンロードする

iPad授業ガイドの詳しい使い方は
「使ってみようiPad授業ガイド」にて確認できます。
「使ってみよう iPad授業ガイド」をダウンロードする

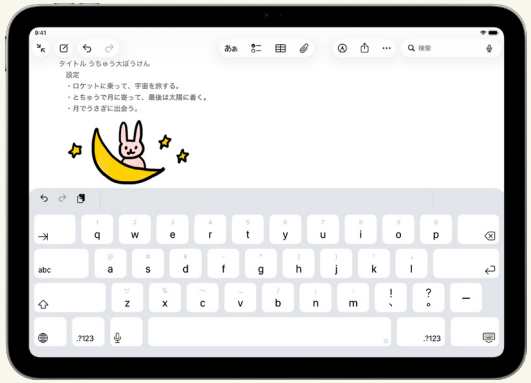
オーディオドラマを作る

見つける | 活動アイデア 1　物語の概要を考えよう

① 教師が物語の場面を設定して、生徒に伝えます。例えば「宇宙を冒険している途中で、地球にそっくりな星に不時着した」という設定なら、その星の絵地図を配布したり、不時着した宇宙船の窓から見える景色のイラストを見せるといった方法で、物語の状況設定を示します。

② 生徒たちは①で示された状況設定をもとに、各自でオリジナルの展開を考えます。メモアプリを使って、起きる出来事や登場人物の行動を自由に想像し、物語のアイデアを書き出していきます。

③ メモができたら、生徒はそれを見ながら、自分の物語のアイデアをほかの生徒に聞いてもらいます。ほかの生徒の反応にもとづいて、物語をブラッシュアップします。



活用できるアプリ

メモ

情報活用能力

簡単な絵や図、表やグラフを用いた情報の整理の方法（ステップ1）
情報の大体を捉え、分解・整理し、自分の言葉でまとめる（ステップ1）
情報の活用を振り返り、改善点を見いだす手順（ステップ2）

プランを立てる | 活動アイデア 2　物語の展開を組み立てよう

① 活動アイデア1で書き出した物語のアイデアをもとに、出来事の展開と、結末までの流れを組み立てます。

② Keynoteを使って、4コマ漫画形式で物語を絵コンテにまとめます。自分の思い描いている場面の流れが視覚的に伝わるように、様々なフォントや図形、吹き出しなどを活用したり、紙に描いたイラストをカメラアプリで撮影して配置したり、アニメーションを使用したりしてもよいでしょう。

③ 絵コンテの形で展開を決めたら、Pagesで物語文を書きます。Keynoteで作った4コマの絵コンテをPagesに直接ドラッグ＆ドロップすることもできます。絵コンテのコマの区切りを参考にしながら、出来事の展開に沿って、段落を分けて書くようにします。

活用できるアプリ

カメラ　Pages　Keynote

情報活用能力

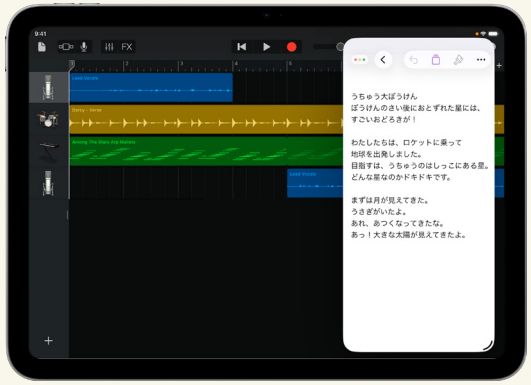
キーボードなどによる文字の正しい入力方法（ステップ2）
自他の情報を組み合わせて表現する方法（ステップ2）
表現方法を相手に合わせて選択し、相手や目的に応じ、自他の情報を組み合わせて適切に表現する（ステップ2）

オーディオドラマを作る

創る 活動アイデア 3　オーディオドラマを作ろう

① GarageBandを開きます。右上の をタップし、Audio Recorderを開いたら、書いた物語文を音読して録音します。活動アイデア2で作ったPagesをSlide Overで開くと、1つの画面で文を読みながら録音することができます。音読のペースや声色などを工夫して、物語の面白さが効果的に伝わるようにします。

② Apple Loopsを活用し、録音した音読に合わせて、場面の雰囲気が伝わるBGMや効果音を重ね、オーディオドラマを完成させます。



活用できるアプリ

Pages　GarageBand

情報活用能力

自他の情報を組み合わせて表現する方法（ステップ2）
相手や目的を意識したプレゼンテーションの方法（ステップ2）
表現方法を相手に合わせて選択し、相手や目的に応じ、自他の情報を組み合わせて適切に表現する（ステップ2）

さらに学びを深める　さらに楽しく表現しよう

- Audio Recorderの「Fun」をタップして表示される様々なエフェクトを使うと、自分の声色を変えることができます。また、サウンドエフェクトを使って、雰囲気を盛り上げたりしてもよいでしょう。
- GarageBandのSamplerを使用すると、録音した声や効果音などを、キーボードでメロディのように再生できます。
- 自分の音読を聞き、気になった点は改善して、納得できるまで何度でも録音し直してみましょう。アナウンサーや声優になったつもりで音読すると、楽しみながら繰り返し練習できるので、音読が上達します。具体的な人物を思い浮かべて、声の出し方や話し方の参考にしてもよいでしょう。
- GarageBandでは、作ったトラックをループさせたり、異なる楽器のトラックをいくつも重ねたりできます。様々な表現で、物語の面白さをさらに引き立てましょう。

評価する 活動アイデア 4　ドラマを聞きながら物語文を読もう

生徒一人ひとりが作成したオーディオドラマをクラスで聞きます。活動アイデア2で書いた物語文を配布しておき、音と文字の両方で物語を味わえるようにします。ドラマを聞いたあと、お互いの作品のよかった点、例えば、どこにワクワクしたかを伝え合います。ワクワクした理由を探るとともに、展開のわかりやすさ、言葉の選び方、意外な結末など、ほかの生徒の物語文の優れた点に注目します。また、それらの特長を自分の作品にどのように取り入れることができるかも考えてみます。

気持ちが伝わる感想文

思い出をきっかけに心に浮かんだアイデアを自由に書き出し、構成を工夫しながら感想文を書いて、1冊のブックにまとめます。
その様々な段階で、iPadは生徒の思考力と表現力を支えるツールとして活躍します。

1	見つける	第1時 学習の見通しを立てる	
2		第2時 紹介したい思い出を決める	活動アイデア 1 11ページ 思い出を選び、詳しく書き出そう
3	プランを立てる	第3〜4時 感想文で扱いたい内容を深く考える	活動アイデア 2 11ページ 気持ちが伝わる構成を考えよう
4			
5	創る	第5〜6時 感想文の文章表現を確かめる	
6			
7	創る	第7〜9時 感想文を書く	活動アイデア 3 12ページ 魅力的な感想文に仕上げよう
8			
9			
10	評価する	第10時 感想文を読み合って、感想を伝え合う	活動アイデア 4 12ページ 感想文をブラッシュアップしよう

*活動アイデア1〜4は、各単元の中でiPadの活用効果の高い箇所に紐付けて示しています。なお、各単元の想定時数や授業の流れは、使用する教科書や教材などにより異なります。

学習目標

思い出を紹介する文章を書く。マインドマップなどを利用して、紹介したい思い出や関連する出来事を書き出したり、構成を考えたりする。自分の考えや理由を明確にし、表現の仕方を工夫する。

身につく力

自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫する力。

使用するアプリ

評価

各活動アイデアについて、「ルーブリック」を使って、生徒が学習目標をどの程度達成できたかを評価します。

ルーブリックをダウンロードする

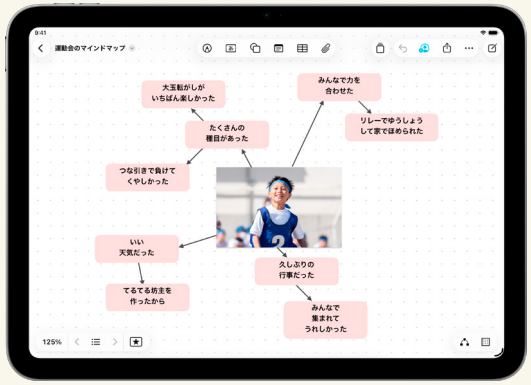
iPad授業ガイドの詳しい使い方は
「使ってみようiPad授業ガイド」にて確認できます。
「使ってみよう iPad授業ガイド」をダウンロードする

気持ちが伝わる感想文

見つける | 活動アイデア 1　思い出を選び、詳しく書き出そう

① 過去1年の様々な活動の中から、ほかの生徒に紹介したい思い出を1つ選びます。紹介する思い出は、運動会や遠足のような行事や、国語や図画工作で作った作品などから選びます。

② フリーボードを使って、選んだ行事や作品について心に浮かんだことを詳しく書き出していきます。まずはテーマを真ん中に置いて、自分が感じたことや考えたこと、がんばったことなどを円や四角の図形に書き出していきましょう。コネクタを使って、図形同士をつなぐ接続線を追加し、マインドマップの形で配置していきます。マインドマップには、必要に応じて写真やビデオも追加できます。真ん中に行事や作品の写真を置いて、イメージを膨らませてもよいでしょう。



活用できるアプリ

フリーボード　写真

情報活用能力

電子ファイルの呼び出しや保存（ステップ1）
電子ファイルの検索（ステップ2）
考えと理由、全体と中心などの情報と情報との関係（ステップ2）
情報の比較や分類の仕方（ステップ2）

プランを立てる | 活動アイデア 2　気持ちが伝わる構成を考えよう

① 活動アイデア1で書き出した内容をもとにして、感想文の大まかな構成を考え、付せんに整理します。

② 選んだ行事や作品についての説明、紹介したい理由、自分の感想やほかの生徒の発言などをまとめていきます。行事や作品の説明部分は簡潔にしつつ、それに対する自分の気持ちを伝える部分はいろいろな角度から詳しく表現します。

③ 付せんにまとめた内容を自分で見直し、取捨選択したり、順序を変えたりして、読む人に自分の気持ちが最も伝わる構成になるように修正します。

活用できるアプリ

フリーボード

情報活用能力

自他の情報を組み合わせて表現する方法（ステップ2）
目的に応じて情報の活用の見通しを立てようとする（ステップ2）

気持ちが伝わる感想文

創る 活動アイデア 3　魅力的な感想文に仕上げよう

① 活動アイデア1と2で集めた情報を整理して、Pagesで感想文を作成します。ほかの生徒にわかりやすく伝わるように、写真やイラストを入れて表現を工夫します。Pagesのブックテンプレートを活用すると、スムーズに作業できます。

② 気持ちが伝わる感想文になるように、具体的な構成とそれに応じた段落の区切りを考えます。構成を考える時は、行事や作品の客観的な説明と、自分の感想（ほかの生徒に紹介したい理由）とをきちんと分けて伝えるようにします。

③ 写真やイラストを使用した表紙をつけて、EPUB形式で書き出します。

活用できるアプリ

Pages

情報活用能力

情報や情報技術を適切に使おうとする（ステップ1）
情報の活用を振り返り、改善点を見いだす手順（ステップ2）
自らの情報の活用を振り返り、手順の組み合わせをどのように改善していけば良いのかを考える（ステップ2）

さらに学びを深める　様々な感想文を作成しよう

- イメージギャラリーを使って、複数の写真を追加し、伝えたい内容がより伝わるように工夫しましょう。
- 整理した情報を視覚的に表現したり、イラストを追加したりする場合、Pagesの描画を使って手描きすることもできます。
- Pagesで構成や表現を修正する際に変更のトラッキングをオンにしておくと、変更内容が記録されるので、前の状態との比較検討ができます。
- iPadでテキストを読み上げて自分で書いた感想文を聞くことで、より客観的に振り返ることができます。
- 行事や作品の思い出を紹介する感想文のほかに、読書感想文を作成する活動もできます。本を選んで、その本を選んだ理由や、自分の感想、紹介したい理由を伝える文章にしましょう。

評価する 活動アイデア 4　感想文をブラッシュアップしよう

活動アイデア3で作成した感想文をiCloud Driveなどにアップロードしてクラスで共有します。教師は積極的にほかの生徒の感想文を読むように、生徒たちに促します。生徒たちは、ほかの生徒の着眼点でよかったところを伝え合います。教師がいくつかの感想文を取り上げ、段落の区切り方を変えるとどのように読みやすくなるかなどを、実際に画面に映し出しながら説明してもよいでしょう。そのあと、生徒は、より伝わる文章にするために改善すべき点を考え、文章の構成や段落の区切り方を工夫して、ブラッシュアップした新しいバージョンの感想文を発表します。

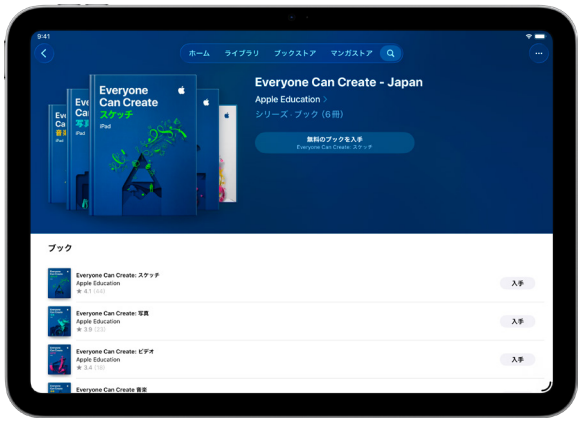
Appleのリソースについてもっと知る

Appleは教師のみなさんをサポートするために、様々な無料のリソースを提供しています。このガイドも、Everyone Can CreateおよびApple Teacherという2つのプログラムで紹介されている授業のアイデアやスキルを日本の小中学校に合わせた形で紹介したものです。さらに学びを深めたい方は、これらのリソースもぜひご覧ください。

Everyone Can Create

Everyone Can Createはアイデアを生み出し、伝えるスキルを身につけるためのプログラムです。ビデオ、写真、音楽、スケッチという表現手段をあらゆる教科に取り入れられるよう、4つのプロジェクトガイドと、2つの教師用ガイドを無料で提供しています。創造的な授業が、生徒の才能を引き出し、学びに夢中になるきっかけとなり、知識や技能の向上につながることは、調査研究によって示唆されています。これらのガイドを参考にしながら、授業をより魅力的なものに進化させ、クリエイティブなアクティビティを毎日の授業に取り入れる方法を身につけましょう。

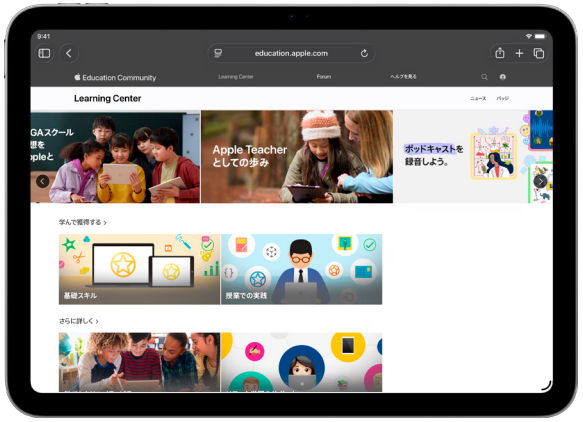
さらに詳しく >



Apple Teacher

Apple Teacherは、毎日の授業や自身のスキルアップにApple製品を取り入れている教師のみなさんをサポートし、その成果をたたえるための無料のプロフェッショナルラーニングプログラムです。iPadやApple製アプリの使い方、授業のアイデアや実践例など、教師のみなさんに役立つリソースが数多く用意されています。プログラムに登録したメンバーには、Appleと教育に関するお知らせなどをメールで定期的にお届けします。

さらに詳しく >



© 2026 Apple Inc. All rights reserved. AirDrop、Apple、Appleのロゴ、GarageBand、iMovie、iPad、Keynote、Pagesは米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。Everyone Can Create、iCloud Driveは米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.のサービスマークです。この資料に記載されているその他の製品名および社名は、各社の商標である場合があります。製品仕様は予告なく変更される場合があります。この資料は情報提供のみを目的として提供されます。Appleはこの資料の使用に関する一切の責任を負いません。2026年6月